

2020年12月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イー・カムトゥルー
 コード番号 3693 URL <https://www.e-cometrue.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田正巳
 問合せ責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 若山尚文 (TEL) 011-271-4761
 中間発行者情報提出予定日 2020年9月30日 配当支払開始予定日 ー
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期中間期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期中間期	161	△4.6	△8	ー	△9	ー	△10	ー
2019年12月期中間期	169	△11.9	△7	ー	△7	ー	△7	ー

(注) 包括利益 2020年12月期中間期 △10百万円(ー) 2019年12月期中間期 △7百万円(ー)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期中間期	△14.06	ー
2019年12月期中間期	△11.00	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期中間期	316	46	14.7	64.30
2019年12月期	309	56	18.3	78.36

(参考) 自己資本 2020年12月期中間期 46百万円 2019年12月期 56百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	0.00	0.00	0.00
2020年12月期	0.00		
2020年12月期(予想)		0.00	0.00

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	340	△22.7	30	728.9	27	581.2	22	598.3	31.79

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

②①以外の会計方針の変更 : 無

③会計上の見積りの変更 : 無

④修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期中間期	722,600株	2019年12月期	722,600株
②期末自己株式数	2020年12月期中間期	一株	2019年12月期	一株
③期中平均株式数(中間期)	2020年12月期中間期	722,600株	2019年12月期中間期	722,600株

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信(添付資料)3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 中間連結会計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 中間連結財務諸表	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	9
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の感染拡大により経済活動や社会生活全般が甚大な影響を受けたことにより、公共投資が底堅く推移したものの個人消費や企業収益が急速に悪化するなど、先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により営業活動や開発活動などが制約される局面があったものの、新型コロナウイルス感染対策を講じるとともに、国外の開発支援会社などの協力を得ながら、新たなサービスの開発と新商材の拡販などの営業活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、新型コロナウイルス感染症の影響による顧客企業店舗の営業自粛に伴う SaaS 利用料課金の減免要請に応えた影響が大きく、減収減益となりました。

当中間連結会計期間における売上高は 161,582 千円（前年同期比 4.6%減）、営業損失は 8,204 千円（前年同期は営業損失 7,732 千円）、経常損失は 9,838 千円（前年同期は経常損失 7,568 千円）、親会社株主に帰属する中間純損失 10,159 千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失 7,948 千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(SaaS 型店舗管理システム事業)

当社グループにおける SaaS 型店舗管理システム事業は 2003 年 8 月より多店舗展開を図る事業者向けに「Win-Board」というサービス名で、サービスを展開しております。店舗の POS レジ・パソコン・バーコードリーダー等を利用し、出退勤情報・売上情報・受発注情報などの店舗システムで発生した各種情報データを当社データセンターで受信し、店舗運営本部のデータベースへと展開いたします。

当社データセンターでは、勤怠管理・売上管理はもとより顧客管理や稟議決裁を含めた 22 種類のシステムを稼働させており、店舗及び運営本部からインターネット経由で当社データセンターにアクセスすることにより、これらのシステムを利用することができる仕組みとなっております。

当中間連結会計期間の SaaS 型店舗管理システム事業の売上は 81,652 千円（前年同期比 19.2%減）、セグメント利益は 22,000 千円（同 42.5%減）となりました。

(ラボ事業)

当社グループが提供するラボ事業は、案件ベースで開発機能のみを提供する従来の受託開発とは異なり、ベトナム現地でお客様専属チームを組成することにより、案件ごとに要件・見積りのやり取りが必要になる受託開発と比べよりスピーディーかつ柔軟に開発を進めることが可能となっております。

当中間連結会計期間のラボ事業の売上は 47,257 千円（同 373.9%増）、セグメント利益は 8,694 千円（同 882.0%増）となりました。

(その他事業)

当社グループでは、IT 人材事業、チェーン店向け内装工事事業、当社の取引先企業に対し主にシステムエンジニアの派遣を行う労働者派遣事業並びに連結子会社であるイーカム・ワークス株式会社が顧客企業店舗への集客支援を行うマーケティング支援事業を展開しております。

当中間連結会計期間のその他事業の売上は 32,672 千円（同 44.0%減）、セグメント損失は 1,458 千円（前年同期は 14,040 千円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比し6,634千円増加し316,129千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比し66,424千円減少し86,633千円となりました。

主な要因は、売掛金が51,867千円、前渡金が11,000千円、現金及び預金が3,725千円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比し73,059千円増加し229,495千円となりました。

主な要因は、ソフトウェアが18,405千円減少した一方、ソフトウェア仮勘定が87,842千円、リース資産が2,318千円増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比し16,794千円増加し269,666千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比し19,157千円減少し57,725千円となりました。

主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が7,152千円増加した一方、買掛金が16,930千円、未払金が6,395千円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比し35,951千円増加し211,940千円となりました。

これは、長期借入金34,750千円増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比し10,159千円減少し46,462千円となりました。

これは、当中間連結会計期間の親会社株主に帰属する中間純損失により利益剰余金が10,159千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フロー

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比し4,678千円減少し、30,864千円となりました。

当中間連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は43,291千円となりました。これは主として、税金等調整前中間純損失9,924千円により資金が流出した一方、売上債権の減少51,867千円、前渡金の減少11,000千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は89,249千円となりました。これは、定期預金の払戻による収入3,521千円があった一方、無形固定資産の取得による支出87,842千円、有形固定資産の取得555千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は41,279千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出8,098千円があった一方、長期借入による収入50,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2020年12月期における通期連結業績予想につきましては、2020年2月14日に公表した「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の2020年12月期の通期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 中間連結会計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 中間連結財務諸表
(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当中間連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,303	33,578
売掛金	99,057	47,189
仕掛品	2,697	419
前渡金	11,000	—
その他	5,019	7,451
貸倒引当金	△2,018	△2,005
流動資産合計	153,058	86,633
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	815	815
減価償却累計額	△378	△393
建物附属設備 (純額)	437	421
工具、器具及び備品	6,627	7,182
減価償却累計額	△5,820	△6,138
工具、器具及び備品 (純額)	806	1,044
リース資産	—	6,199
原価償却累計額	—	△3,881
リース資産 (純額)	—	2,318
有形固定資産合計	1,244	3,784
無形固定資産		
ソフトウェア	117,902	99,496
ソフトウェア仮勘定	24,898	112,740
その他	46	46
無形固定資産合計	142,847	212,284
投資その他の資産		
投資有価証券	5,100	5,013
敷金及び保証金	4,732	4,631
その他	2,627	3,896
貸倒引当金	△115	△115
投資その他の資産合計	12,344	13,426
固定資産合計	156,435	229,495
資産合計	309,494	316,129

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当中間連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,294	14,364
1年内返済予定の長期借入金	14,004	21,156
1年内返済予定のリース債務	—	1,253
未払金	12,173	5,777
未払費用	4,312	4,686
未払法人税等	2,174	2,084
未払消費税	7,945	5,096
その他	4,978	3,307
流動負債合計	76,883	57,725
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	75,989	110,739
リース債務	—	1,201
固定負債合計	175,989	211,940
負債合計	252,872	269,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	165,940	165,940
資本剰余金	80,240	80,240
利益剰余金	△189,557	△199,717
株主資本合計	56,622	46,462
純資産合計	56,622	46,462
負債純資産合計	309,494	316,129

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	169,374	161,582
売上原価	108,597	105,545
売上総利益	60,777	56,037
販売費及び一般管理費	68,509	64,242
営業損失(△)	△7,732	△8,204
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
受取家賃	296	60
手数料収入	1,280	514
貸倒引当金戻入益	942	—
その他	103	172
営業外収益合計	2,622	747
営業外費用		
支払利息	2,458	2,369
その他	—	11
営業外費用合計	2,458	2,380
経常損失(△)	△7,568	△9,838
特別損失		
投資有価証券評価損	—	86
特別損失合計	—	86
税金等調整前中間純損失(△)	△7,568	△9,924
法人税、住民税及び事業税	380	235
法人税等合計	380	235
中間純損失(△)	△7,948	△10,159
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△7,948	△10,159

②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
中間純損失(△)	△7,948	△10,159
中間包括利益	△7,948	△10,159
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△7,948	△10,159

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	165,940	80,240	△192,846	53,333
当中間期変動額				
親会社株主に帰属する中間純損失(△)			△7,948	△7,948
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)				—
当中間期変動額合計	—	—	△7,948	△7,948
当中間期末残高	165,940	80,240	△200,795	45,384

	純資産合計
当期首残高	53,333
当中間期変動額	
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△7,948
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—
当中間期変動額合計	△7,948
当中間期末残高	45,384

当中間連結会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	165,940	80,240	△189,557	56,622
当中間期変動額				
親会社株主に帰属する中間純損失（△）			△10,159	△10,159
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）				—
当中間期変動額合計	—	—	△10,159	△10,159
当中間期末残高	165,940	80,240	△199,717	46,462

	純資産合計
当期首残高	56,622
当中間期変動額	
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△10,159
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	—
当中間期変動額合計	△10,159
当中間期末残高	46,462

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△7,568	△9,924
減価償却費	11,534	19,358
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	524	△13
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	2,458	2,369
投資有価証券評価損	—	86
売上債権の増減額 (△は増加)	52,237	51,867
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△250	2,278
前渡金の増減額 (△は増加)	△49,680	11,000
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,163	△16,930
未払金の増減額 (△は減少)	△7,038	△6,395
未払消費税の増減額 (△は減少)	5,802	△5,497
その他	△302	△1,000
小計	553	47,197
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△1,883	△3,615
法人税等の支払額	△600	△290
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,928	43,291
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△581	△4,474
定期預金の払戻による収入	—	3,521
有形固定資産の取得による支出	△717	△555
無形固定資産の取得による支出	△27,695	△87,842
短期貸付金の回収による収入	13	—
その他	△31	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,012	△89,249

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入による収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△7,002	△8,098
リース債務の返済による支出	—	△622
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,002	41,279
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△37,943	△4,678
現金及び現金同等物の期首残高	56,653	35,542
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,710	30,864

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	SaaS型店舗 管理システム 事業	ラボ事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	101,017	9,972	58,385	169,374	—	169,374
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	101,017	9,972	58,385	169,374	—	169,374
セグメント利益又は損失 (△)	38,283	885	△14,040	25,127	△32,860	△7,732
セグメント資産	277,525	271	902	278,699	5,258	283,957
その他の項目						
減価償却費	11,249	59	170	11,479	54	11,534
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	27,933	331	—	28,264	149	28,413

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (3) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない管理部門等に係る全社資産であります。
 - (4) その他の項目のうち、減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	SaaS型店舗 管理システム 事業	ラボ事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,652	47,257	32,672	161,582	—	161,582
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	81,652	47,257	32,672	161,582	—	161,582
セグメント利益又は損失 (△)	22,000	8,694	△1,458	29,235	△37,440	△8,204
セグメント資産	310,036	416	510	310,962	5,166	316,129
その他の項目						
減価償却費	19,221	91	8	19,321	37	19,358
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	94,296	176	124	94,598	—	94,598

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (3) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない管理部門等に係る全社資産であります。
 - (4) その他の項目のうち、減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間において、経営管理区分を見直すとともに、重要性が増したことから、「その他事業」に含めておりましたラボ型開発に係る事業を中心とした「ラボ事業」を新たなセグメントとして設けることといたしました。

その結果「SaaS事業」と「その他事業」の2区分から、「SaaS事業」、「ラボ事業」及び「その他事業」の3区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。